

2014 年度前期 労働講座企画委員会寄附講座

「未来の自分をつかめ～OB・OGの働き方をとおして考える」受講上の注意

2014 年 4 月 14 日

コーディネーター 柳沢敏勝（商学部）

- ・『学部間共通総合講座シラバス 2014 年度』を参照のこと。
- ・掲示や Oh-o! Meiji を通じて、必要事項を連絡する場合がありますので、注意すること。
- ・本授業用のウェブサイトに関連事項、関係する資料、映像、リンクなどを掲載するので、随時閲覧すること。

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~labored/kifukoza/rodokoza2014.html>

（「2014 年度明治大学労働講座」で検索すれば探せます）

1. 講義の内容について

講義の流れ（シラバス参照）

- ・OB/OG の働き方を知る、正規労働者と非正規労働者の働き方を知る
- ・アルバイト経験をもとに労働者の権利と問題解決の仕方を考える
- ・中間まとめのグループ討議（グループに分かれて、課題について話し合って発表する）
- ・働くことを社会的に捉える、労働社会のありようを考える、労働組合の役割を考える
- ・レポート提出

ゲスト・スピーカーについて

第2回目（4月 21 日）OB・OGトークで2人の社会人

第 12 回目（7月7日）森崎巖さん（全労働省労働組合委員長、元労働基準監督官）と第 13

回目（7月14日）、飯田勝泰さん（NPO 東京労働安全衛生センター事務局長）

講義の寄附者について

労働講座企画委員会（労働組合や労働 NGO、大学の労働研究者で構成）

講義に関係する方々

明治大学商学部の TA（ ）

明治大学労働教育メディア研究センター客員研究員（高須、青野）

労働講座企画委員会の関係者

2. 講義中の注意事項

- ・講義の様子をビデオ撮影することがあるが、受講生の顔は写さない。映像記録の一部を授業のウェブサイト上で公開する。
- ・講義の最後に講師への質問時間がある。受講生は講義中に質問を準備してほしい。

3. 成績評価について

- ・毎回の授業時に、出席確認を兼ねた感想文を提出してもらう。これが各 4 点×14 回で計 56 点。
- ・4 月 21 日の授業時間中に、「アルバイト実態調査アンケート」に記入し提出する（4 点）。同日は感想文とあわせて 8 点になるので必ず出席のこと。
- ・最終課題レポートは 40 点で評価する。課題と締め切りは、6 月 9 日までに発表する。

以 上